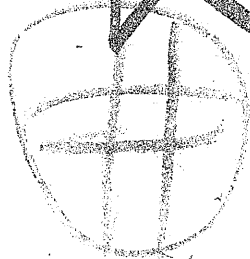


十月三十日

軍司令部

参謀長



● 札

1627

生聚急

朝鮮軍管区司令部

師團司令部十六日十六時無事仙崎に到着  
二十九時頃上陸完了翌日朝ヨリ復員輸  
送の内開始又

一五。師團長

19.16.00

平二組

正明市

終

1628

電話連絡

(十月十九日二十時至翌日)

車参謀長

福岡

玉井少佐了

参観員

一、車高級副官田中中佐指揮下

部隊十八日無事福岡到着也

二、復員業務関係異常了了了

也

終

前報

至急

軍参謀長

10月19日 18時45分

10月19日 19時05分

第2組

裡里

一六〇師連電第九六號

朝参意第三六三號ニ據ル内地人世話會ニ對スル

補助金當師団デハ交付アラズ

連絡班長

生三三三

軍參謀長

19.12.10

19.18.45

第二組

麗要連電才三三三

朝参電才三六二号送電

一当地ニ送ケル邦人ノ引上ケハオオオ完了セリ爲内先世話  
会解散シ其ノ責任者ニ既ニ内地ニ歸還シ細部ノ状況  
不明ナリ

二尙当地警署ニ案置長ニ同ヒ合ハセルモ軍ヨリ補助金ノ  
交付ヲ受ケルガ如キハ通知シテ亦  
引上ガ邦人ノ舍管及ヒ糧秣ナルノ援助ハセシモ補助  
金交付等ハ成知ラズ

所長要連絡班長

終

光州入隊命令

生至志

軍經理部長

19.13.10.

19.18.45

11

第二組

濱州

此若經電第六八号

当軍石井主計中佐目下木浦ニアリテ渡航禁止

ニ為歸還ニ得ガレ旨電報ニタレモ目下復員ノ業務

處理ノ為是非速カニ歸還セシムル機要アルヲ以テ同中

佐ト連絡ノ上米軍ノ飛行機ニ便乗セシムル如ク配

慮アリタシ

終

生野

軍參謀長

19.14.30.

19.18.45.

第二組

美格班及び爾後、殘置部隊、為米軍接待用

機密山費、少クモ一萬円、兼、送附セラレタリ、目下、困却

ニ、リ、二十日、輸送會議ニ出席セシ、津野、主計中

針ニ、産サレタリ

光師 參謀長

筆

不  
戰

生普通

軍參謀長

19.15.10.

19.18.45

10.

ス電第一七三号

陸工二三乘船ニ因シ米軍ヨリ所員向アリ

ヨリテ(経過結果)ニ付テ謂キ且通報アリ

ナリタシ

京  
城

第二組

終

1634



三五〇

軍參謀長

19. 14. 30.

19. 18. 分

第二組

光州

無線通信用乾電池ナキ爲十月二五日以降ハ通信

不能ニ付キ左記電池ヲ支給サレ度 輸送ハ連

絡特技長野分佐亦ハ輸送會議ニ出席

中ノ主計中尉ニ托サレタシ

左記

一 B 電池 (四五V) 三〇ヶ

一 A 電池 (平角二號) 三〇ヶ

一 C 電池 (又ハ微光燈用) 一〇ヶ

光部參謀長

1125

10月19日 21時00分

22時00分

軍參謀長

又電第一七四號

引揚邦人の輸送計画

意向急変し再三再四

輸送

軍部の本輸送ハ

誠ニ遺憾至極ニ

引揚邦人の輸送ハ

カノ第三四ノ之カ

鮮軍ノ計画ト類似

ル輸送ノ統制

閣下ハ昨一七日以降米第三四軍ノ

切志書方申入レモ其

指示ニ接シテ以テ

報告ス

計画ニ米第四〇七六(アス

但シ軍政廳ノ計画ハ朝

鮮軍ノ陸軍省ヨリ命

責任ハ如何ト莫肉ニ対

第ニ組  
京成

1636

責任解除を以て近日中陸軍省より朝鮮軍に此

旨命令せし様 至意 (マルカサ) 司令部に連絡スルノ下ナリ

二大田軍司令部に清津島ノ輸送完了セバ内地ニ帰還スル

ニ定ムルヲ以テ更ニ人員ヲ減少セシメ度 尙最近迄残存スル

人員ノ報告セシメ度ト (清津島輸送ハ十月二三日頃より

開始シ一月ヲ以テ終了スルニ定ムルト)

三左記ニ日本軍運送所ヲ設置スルニ付

京城 (二四軍司令部及第七師団ニ對シテ運送)

仁川 (アスカル等ニ對シテ運送) 新設

釜山 (四師団ニ對シテ運送)

全州 (六師団ニ對シテ運送) 新設

各運送部ハ長以下約一五〇人ヲ標準トシテ運カニ

—乙—

人員數ヲ決定報告セシメ度ト、但シ釜山ニ於テハ現ニ米第  
四師団カ使用中、約二〇〇名、兵力、及釜山陸軍病院  
(約二〇〇名)ハ當分、間残置 旨ト

四、當方ノ意見トシテ仁川連絡部長、京城連絡部長之ニ  
兼任スルヲ可トシ、約一〇〇名ノ人員(詳細ハ後報)ヲ増加  
セシメ度

五、米第六師団ハ群山及木浦ヲ使用シ引揚ル日本人輸送  
ヲ實施スベキ命令ヲ受ケ居ルヲ、群山、木浦要員トシテ  
全州連絡部ニ五〇名、他ニ更ニ若干ノ増加セシムルニテ  
併ナルモ増加ノ人員數ニ因リテハ別ニ米軍ヨリ指示スト  
ナリ

六、残置連絡部、任務如何ト、質問ニ対シ、米軍ト、連絡  
 情報、交換、北方ヨリ帰還スル兵、收容等ト、数々ハ、名ニ、當方  
 判断トシ、米各師団、實施スル邦人、引揚、其他、同、内  
 面的指導ヲ、主ニ、軍政初ルモ、ト、思、考、シ、テ、考、考、シ、テ、  
 七、軍司令部、連絡部以外、日本軍、隊、引揚、輸送、ハ、近  
 開始、セ、ル、モ、ソ、ノ、計、画、ハ、別ニ、指、示、ス、ト  
 八、京仁地、王、休、暇、軍、人、及、同、家、族、輸、送、ニ、亦、軍、政、廳、ニ  
 於、テ、計、画、シ、二、三、日、頃、ヲ、開、始、シ、一、〇、月、末、迄、ニ、完、了、ス、ル、ト  
 九、以上、ハ、口、頭、ニ、以、テ、指、示、セ、ラ、レ、タ、ル、モ、近、ク、之、ニ、關、シ、書、類、ヲ、交、付  
 セ、ル、ル、等、ナ、リ

終

至急

軍参謀長

19  
20  
07/1

10月 18  
20  
08/16  
兼二組

博多

狀況報告、多植弘参謀<sup>他</sup>二名、元日夕博多発  
基地<sup>向</sup>ハシム、高級副官関係者八日無事上陸ス

長谷川中將

終

1640

精誠 副

普通

先方受付 10/19 11/11 25  
当方受信 10/19 11/11 32

軍参謀長

入電第一七一號

岡田通譯官八明後二一日列車二二下單獨出發

スル等々

電報班受付 10/19 14/15  
受付番號 6

發所 京城

第二組

終

1641

至急 19日 11時 5分

14時 15分

第二組

軍經理部長

岩經電第六七號

朝經電第三六九號返

一、當預金、郵便貯金ト云ルモノハ如何ニ上處置スルヤ 郵便貯金ハ引出シ困難ニシテ悉ク從來ノ私金ノ通牒ト同一ナルヲ以テ通牒ヲ以テ返納ニ不可能ナリ

二、兵ニ既ニ給與金ヲ支給セルモノ多ク之カ返納ハ實行不可能ナリ  
三、尚私金保證ニ関シ幾多ノ疑義アルニ付 至急 經理部々負  
派遣方 配慮相成度

終



五  
五

(三六二號  
世話合交付補助金使用状況件)

至急 10月19日9時10分  
軍管区参謀長  
朝参電第三六二號返  
当擔任地域内地人世話會ハ受領レアラズ

京城師管区連絡班長

12時0分

天の  
安  
第二組

終

1643

至急 10月19日 07時30分

12時0分

第一組

軍參謀長

大印

現地米軍、在留日本人引揚援助に任ずる日本軍隊、兵器携行、認められ共、其、自動車使用、関、使用、都度米軍、證明ヲ要ス等種々制限ヲ設テ連絡班、任務達成極々困難ニ状況ニ  
本件、関、至急米軍司令部、諒解ヲ得、現地ニ撤底方取計ニ度

送

師管区 參謀長

終

至急 10月19日 11時

軍司令部

留守業務整理済ム

13時

大邱陸軍病院

03

久留米

第二組

1645

庶

八四三号 焼却不明

至急 10月19日 18時0分

軍司令官

朝軍参電 幕八四三 辨送

該當者 ナシ

靖八。一長

13時

密陽

04 第二組

1646

至急 10月18日 22時0分

軍參謀長

陸轉電第一號

20日07時0分 不171121 第二組

陸軍

(其ノ一 淨書提出済)

日本軍將兵ハ主要ナル鐵道通信線ノ確保修復ニ當リ日無キ有様  
ニシテ當方ヨリ五日以降ニ於ケル其ノモトハ戰死將校ノミモ判明  
セルモ既ニ全支那ニテ五口石ヲ越ヘアリ以上ノ狀況長期ニ亘ルニ於テハ  
推測ノ低下ハ軍紀ノ弛弛緩等モ避ケ難ク各種困難ナル問題  
ヲ惹起スルノ恐レ甚ダトナルモ見ルラ憂慮シタル

以下各地ニテノ狀況概説ス

一 蒙疆地区

(包頭) (残留居留民六〇〇) ハ九月二十四日接收ヲ開始シ二十日終了

一月七日軍民共鐵道ニ依リ(大同)ニ撤收完了セリ  
(張家口)ハ停戦直後ニ於ケルソノ軍不法進入ニ伴ヒ軍民共  
ニ(ケイシン)地区ニ撤收済ナリ

(其ノ三未著)

高管内鐵道ハ共匪ノ暴善ヲ排除ニシテ確保シタリ 二月七特  
(ズン)首席未サイ一六日前進シキヨリト約シ(リニネン)テウシ  
ハ君干ノ兵カラ率チ共匪ノ妨害ニ愠マサレソノ北上中ニシテ一日  
入ヲセリ 本地区ハ共匪ノ跳躍最モ甚ダシノヨリ通信ハ絶トス  
切断セシ全兵力ノ鐵道沿線集結並ニ第四七師團ノ未著ニ  
伴ヒ銳意修復ニ努力中ナルモ(テウテン)以西ノ黃濟線ノ開通ニハ  
ナクモ二月ノ要スル見込ナシ(青島)ニハ本二日米軍約一萬  
上陸セシ翌ニテ陸海軍八日九日兩日間ハ一  
ニ移駐セリ

一、二

四、(山西)地区ハ接收順調ニテ大部終了セルモ共匪ノ勢力カ最も

大正方面ニシテ部隊ハ借用兵甚ク保持シテ(大同、レイ、龍)

フカン間(ドウホ)線及(セキ)線沿線ニ集結シアリ 千石ウラドウ

沿線以外ハ全クト、勢力圏ナルヲ以テ今後ニ於テ糧食ノ獲得

收音施設及自警等不審アル次第ニシテ帰還輸送船復ノ

迅速ニ配當ヲ待望ニアリ

五、(ハイタイ)地区ハ九月二日第一戦已(コウソウナン)長官来リ

概ネ順調ニ接收進捗シ部隊ハ(新郷)(開封)及(鄭州)

(其ノ六、七淨書提出済)

内河ニ進捗シ概ネ接收完了セリ (ネイカン)地区ノ軍民ハ

上海ニ向ヒ船舶輸送中ナリ

一、(ナンジン)地区ハ九月一日前進指揮所(南昌)ニ到着一日日  
(セウカフ)長官来昌(九江)周辺及河南省地区ニ於テ接收  
概テ終了、(フウニツ)沿線ニ集結中ナリ

二、(シウセン)ハ九月一三日前進指揮所来セン(ニトウ)ニテ接收  
終了(ニトウ)タイカンニ集結中ナリ、サイ(イモウ)第一。四師団ハ

九月三日ヲ接收ヲ開始ス

三、(武漢)地区ハ九月八日第六戦区(ソウイニツヨ)長官来漢、  
漢口及武昌周辺地域ニ於テ河滑裡ニ接收概テ終了セン

トニアリ

三、(テウニツ)地区ハ九月二日より接收開始シニ五日概テ終了  
ニ部隊ハ岳州、セウイン、湘潭、長沙、新昌(ウヨウ)ニ集

結ヲ完了セリ



一四、(コウシウ、雷州) 地区、廣東、雷州地区

廣東附近ハ九月六日接收ヲ開始シニ七日概テ終了シ

軍民共ニ(カニン)地区ニ集結ヲ完了セシ筈ニシテ三日ト

漸ク餘地区ハ一〇月二日完了シ中旬中ニダイレウ(廣東東方

三口料)ニ集結ノ事トシ(中シセ)半島ハ一〇月三日終了

軍民共ニ(セイヤ)附近ニ集結中

海南島ハ一〇月五日前進指揮所(カイコウ)ニ到着シ交渉ヲ

開始セリ

一五、(香港) 八月三日英艦隊入港 九月一日(九竜)ニ集結

命ジレ九月六日接收終了ニ目下(廣東)トノ連絡ハ遮断

セシアルヲ以テ詳細不明 當所一ニ是行事件發生セシハ

1651

遺憾正極す

一、(エウホク)地区ハ九月七日以降中國兵進駐 九月八日

第一方面軍 (コカシ) (河内) 来着 内清裡ニ進移ス

(ハイ、海防) 附近ニ於テ接收 既ニ終了セシム

三、(台湾) 近ク前進指揮所トシテ了ス

終  
111

1652